



真名子小だより 5月号

えがお



平成25年5月17日
発行者 島田 芳行



真名子小学校を囲む山々の木々も青々とし、小鳥のさえずりも一段と賑やかになってきました。里では、だんだんに水が張られた田んぼで田植えが行われたり、畑仕事にいそむ姿があちこちで見られたりします。真名子の里全体がまさに「張り切る春」を迎えています。

今、子どもたちは、ゴールデンウィークが過ぎ、いよいよ学習に運動に本腰を入れて頑張る時期を迎えています。ぜひ、学校の様子を聞きながら、子どもたちの頑張りに耳を傾けてください。そして、ほめたり、励ましたり、相談にのったりしながら、子どもに寄り添っていただければと思います。必ず子どものよりよい育ちにつながります。よろしく願います。

“今こそ、自分自身の幹を太らせるとき”

～児童集会で話したこと～

皆さんは「桜守り」という言葉を知っていますか。桜の木の声に耳を傾け、桜の命を守る「桜のお医者さん」です。京都の庭師である佐野藤右衛門さんは、現在85歳。日本全国の有名な桜の木の保存活動をしている方です。

樹齢何百年にもなる桜の木を見たときの話です。ある地域の保存団体が、外に出ている根っこの部分に土をかぶせていました。それを見た藤右衛門さんは、首をかしげました。藤右衛門さんは、「みなさんが桜を守るために一生懸命保護したい気持ちは分かる。でも木の声も聞かず人間の都合で土をかぶせたのではないか。相手が何を望んでいるか本当に考えたのだろうか。その桜の木は、長年、その根っこが出た状態で、バランスをとって生きてきた。桜も自分の力で一生懸命生きようとしている。その生命力を信じて、見守ることも大切。」藤右衛門さんは、根っこに土をかぶせたことによって、根っこがむれてだめになると考え、その土を取り除きました。



桜は、花を楽しむのはほんのつかの間。多くの人は、花が咲く時期しか見ていません。でも桜の木は、花が散ったときからすでに新たな1年がスタートし、来年の花のためにエネルギーを蓄えて、成長していきます。真名子小の桜の木も青々とした葉がいっぱい茂ってきました。

いよいよ夏に向けて桜の幹を太らせるときです。

図書室に「自然は急がない」という額があります。本市の名誉市民である山本有三先生が残した言葉です。これには、続きがあります。「自然は急がない、だが一秒たりとも怠けていない。」

皆さんも、入学して、新しい学年に進級して、約1か月が経ちました。真名子小の桜の木のように、皆さんも自分自身の幹をじっくりと太らせるとき、成長させていく時期になっています。

4月に「夢や希望に向かって励む子になろう」「いじめのない日本一仲良しの学校にしよう」「日本一の美しい学校にしよう」の3つの話をしました。目標は立てただけでは意味がありません。目標に向かって努力し、ぜひ、自分自身の幹を太らせてください。

※ 「桜守り」の仕事は、木をかまいすぎてもいけません。絶えず木の声に耳を傾けながら、その生命力を信じ、寄り添い、必要に応じて手助けすることだといいます。そこには桜の木を見守る藤右衛門さんの深い愛情があります。子育て、教育と共通することはありませんか。子どもたちは、今、とても伸びる時期です。「私たちが点検する必要がある」この話を聞いてそう思いました。

新たにスタートした教育活動も毎回楽しく！

【学力向上…朝の学習（算数の小テスト）】



集中して
頑張ります！
プリントも
1枚、2枚…

【感性を育む…音楽集会】



5月は
「お誕生日の歌」
「大きな歌」
体育館中に
歌声が広がりました！

【社会性・思いやり…ロング昼休み】



サッカー
一輪車
鬼ごっこなど
子どもが一番
楽しい時間！

【体力づくり…持久走】



毎週の
体力づくり
みんな真剣に
走ります！

◎「こころの日」がスタートします

「いじめ」が社会問題になっている今日、今まで以上に子どもたちの心づくりが大きな課題になっています。思いやり、優しさ、心の強さ、正しい心、勇気、礼儀、公共心など、学校と家庭と一緒に連携・協力しながら育てていく必要があります。そこで、**第3日曜日を「こころの日」とし、保護者の皆様とお子さん**とが、**心を通わせ、心をはぐくむ日**とします。

別途通知のとおり**5月19日からスタート**しますので、よろしくお祈りします。



とちぎ未来アシストネット事業（学校支援ボランティア）で充実する教育

アシストネット事業は、地域の皆様のご協力をいただきながら、学校の教育活動を充実させる事業で、昨年度は児童の登校を見守る安全ボランティアや読み聞かせボランティアをはじめ、多くの分野で、のべ70名の方に、学校支援ボランティアとして活躍していただきました。

今年度も、24の内容で、学校支援ボランティアをお願いする予定です。

つきましては、地域コーディネーターの天海様や真名子地区自治会連合会長の横倉様とも相談させていただき、**今年度改めて自治会全戸を対象に学校支援ボランティアの募集をすることになりました。**地域の皆様や保護者の皆様にご協力いただきながら、**真名子地区ならではの教育に全力で取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお祈りします。**



<アシストネットの皆様のお陰で農園活動再スタート！>

東日本大震災以来、休止していた**農園活動が再スタート**します。草刈りから耕耘、畝立て、さつまの苗植え等、ご協力ありがとうございました。**勤労や協力することの大切さ、収穫の喜びや感謝の気持ちを学ばせたい**と思います。



【ボランティア、PTA、先生みんなで草刈り】



【地域の先生に学んでさつまいもの苗植え】

協力いただいた皆様
お世話になりました
天海 達雄 様
中村 良一 様
田中 敏雄 様
田口 義道 様
島田 善一 様
若林 邦雄 様
PTA役員の皆様